

奈良県の目指す教育	基本理念	一人一人の可能性を最大限に引き出す教育 ～郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～ 奈良県教育振興大綱	
	施策体系のテーマ	生きる力の基礎を培う就学前の教育の推進 自ら学び、考え、意見を述べる力を大きくむ学校教育の推進 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 誰一人取り残さない教育の推進 奈良の学び推進プラン

※ 「特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応」は、「保育」「指導」を個別最適化を行うものとしての位置付け

※ 「ICTや情報・教育データの活用」は、「保育」「指導」「特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応」をより効果的に行うための手段としての位置付け

【R7年度版案】奈良県園長等の資質向上に関する指標モデル

求められる役割	○ 園内外の実態に基づいた園経営目標を提示し、広い視野とリーダーシップを発揮して園経営を推進する。 ○ 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できるよう人材を配置し、健全で安全な組織づくりを推進する。 ○ 園の教育力増進のため、園をとりまく関係者の相互作用が活性化するよう良好なコミュニケーションを推進する。
---------	---

区分	項目	指標
基礎的資質	法令遵守 人権感覚	・ 高いコンプライアンス意識と豊かな人間性、鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った園づくりに向けて、誠実かつ公正に職務に当たっている。
	決断力 発信力	・ 豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に決断する力を有し、教職員・幼児・保護者等に対して明確な意思や説得力のあるビジョンを発信している。
	情熱 責任感	・ 幼児への深い愛情と教職としての誇りをもって教育に当たるとともに、強い使命感と責任感をもって園経営に当たってる。
	自己教育力 探究心	・ 社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で園経営や幼児の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。
マネジメント力	ビジョンと 目標の具現化	・ 第3期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、自園の教育目標を設定し、その具現化に向け目標の共有と教職員間の連携を図りながら組織に取り組んでいる。
		・ 多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての幼児が尊重される園づくりに取り組んでいる。
		・ 園評価など教育データの結果を踏まえ、教育活動や園運営の状況を把握し、園運営の改善と発展に取り組んでいる。
	教育課程と 保育の改善	・ 自園の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程を編成している。
		・ 各教員に保育改善や園務改善につながるICT活用の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自園の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。
		・ 幼児と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、保育改善等について適切な指導・助言を行っている。
		・ 質の高い教育を幼児に提供できるよう園内研修の推進を図る。 ・ 就学前教育に関わる研究会等の活動に積極的に関わるなど、県や都市での教育研究活動の推進に寄与している。
	危機管理	・ 児童虐待や登園拒否等の諸課題に対して園内体制を整えるとともに、関係機関との連携を図りながら適切な対応方針を示している。
		・ 日常の園における安全管理及び保健管理に努めるとともに、災害や想定外の事態に備えて「危機管理マニュアル」の整備と周知を行い、組織的対応ができる体制を整えている。 ・ 危機発生時には関係機関と連携し、迅速かつ的確な指示をすることができる。
		・ 予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。
	人材育成	・ 教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年等によるOJTを推進する。 ・ 各教員のキャリアステージ及び研修履歴等に応じた外部での研修（Off-JT）を促し、「学び続ける」教職員を育成している。
		・ 全ての教職員が特別支援教育に関する理解を深め、専門性をもって幼児の指導に当たれるよう、教職員配置や研修内容等を工夫している。
		・ 人事評価制度の意義を理解するとともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言等を行い、資質・能力の向上を図っている。
		・ 日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、充実したラインケアの構築に努めている。 ・ 教職員にセルフケアを意識付け、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメント等の防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。
調整力	家庭・地域・ 関係機関との連携	・ 家庭や地域・関係機関等に園の方針や運営状況等を分かりやすく伝え、園経営目標を共有し、「地域と共にある園づくり」を推進している。
		・ 異校種間の接続・連携や近隣の施設や学校等との情報交換を積極的に行っている。
		・ 教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら園の課題解決につなげている。

奈良県教職員研修計画（案）

令和7年〇月

奈良県教育委員会

目次

奈良県教職員研修計画について	1
1 奈良県教職員の資質向上に関する指標について	2
(1) 奈良県教諭の資質向上に関する指標	3
(2) 奈良県養護教諭等の資質向上に関する指標	4
(3) 奈良県栄養教諭等の資質向上に関する指標	5
(4) 奈良県市町村立小中学校事務職員の資質向上に関する指標	6
(5) 奈良県校長の資質向上に関する指標	7
(6) 奈良県副校長・教頭の資質向上に関する指標	8
(7) 奈良県幼稚園等教諭・保育教諭の資質向上に関する指標モデル	9
(8) 奈良県園長等の資質向上に関する指標モデル	10
2 奈良県教職員研修の実施方針	11
(1) 教職員研修の基本方針	11
(2) 「奈良の学び」の実現に向けた具体的な方策	12
ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善	12
イ 専門性や個性の伸長を図るための研修体系の整備	12
ウ 研修内容の充実	12
エ ICTを活用した研修の実施	12
(3) 研修体系	13
ア 令和7年度 奈良県教職員研修グランドデザイン	13
イ 主に奈良県立教育研究所が行う研修講座編成の基本方針	14
ウ 対象者指定の研修講座	15
エ 校種別研修講座一覧	16
(4) 研修の評価	29
ア 研修の目的・目標の設定の視点	29
イ 研修の評価の目的	29
ウ 研修の評価の方法	29
エ 研修主催者による研修の評価	29
オ 奈良県立教育研究所の研修に関する評価	29
3 教職員の研修履歴の記録について	30
(1) 次世代型教職員研修システムによる研修受講履歴の記録等について	31
ア 対象となる教職員について	31
イ 研修履歴活用アプリの利活用	31
ウ 役割	31
エ 対話に基づく受講奨励	31
オ 研修履歴の記録の範囲について	32
カ 研修履歴の記録の内容	32
キ 研修履歴の記録の流れ	33

※ 奈良県教職員研修計画は、教育公務員特例法第 22 条の 4 に基づき、①研修実施者が実施する研修の基本方針、②研修実施者が実施する研修の体系、③研修実施者が実施する研修の時期、方法及び施設、④研修実施者が行う資質の向上に関する指導助言等の方法、⑤研修の奨励の方途、⑥研修の実施に関し必要な事項について定めるものです。

奈良県教職員研修計画について

「教職員は常に学び続ける職業である。その職にある間は、より高いものを目指しあらゆる人や書物等から学び続けてほしい。自らが学ぼうとしない者に、子どもたちを教育することなどできない。」。これは、奈良県立教育研究所が発行している教職員のための研修ハンドブックに掲載している言葉です。

教職員の研修については、教育基本法第9条において「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」とされるときともに、教育公務員特例法第21条においても「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とされるなど、教師は学び続けることが強く求められています。また、地方公務員法第39条には、「職員には、その勤務能率の発揮及び増進のために、研修を受ける機会が与えられなければならない」と定められていることから、適切な研修の機会に、教職員は絶えず研修に励み、学び続けることが求められています。

奈良県では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、これまでの総合教育会議の議論を踏まえ、令和7年度から令和10年度までの教育の指針として、「第3期奈良県教育振興大綱」を策定しています。ここでは、奈良県教育が目指す方向性として、郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力とたくましく生きる力を育む「一人一人の可能性を最大限に引き出す教育」を行うこととしています。奈良県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）では、大綱の内容等を踏まえて、施策の具体的な計画を定めた「奈良の学び推進プラン」を策定し、これらに基づく「奈良県教職員の資質向上に関する指標」（以下「指標」という。）を策定しています。

本書は、教育公務員特例法第22条の4に基づく研修計画として、奈良県が目指す教育に対する教職員の資質向上に役立てることを目的に、指標を踏まえて、奈良県の教職員の研修、奈良県教職員研修の実施方針及び各職におけるキャリアステージに応じた研修計画等について示したものです。

各学校においては、指標や本書を面談等の機会に活用し、教職員一人一人が自らの使命と職責、専門職性等を高めていくことを目的に、計画的に研修や自己啓発に取り組んでいかれることを期待しています。

【奈良県が求める教員像】

- 子どもの学ぶ意欲を高め、生涯にわたり学び続ける力をはぐくむ人
- 豊かな人間性をもち、「生きる力」を備えた心身ともに健やかな子どもをはぐくむ人
- 奈良の伝統、文化を理解し、地域と社会的絆の中で子どもをはぐくむ人

【奈良県教育が目指す方向性】

一人一人の可能性を最大限に引き出す教育

～郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～

【教育施策の5つの柱】

1. 生きる力の基礎を培う就学前の教育を推進します
2. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育を推進します
3. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備を推進します
4. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育を推進します
5. 誰一人取り残さない教育を推進します

1 奈良県教職員の資質向上に関する指標について

平成29年4月1日に施行された教育公務員特例法等の一部を改正する法律に基づき、奈良県では、「奈良県教職員の資質向上に関する指標」を策定しています。本指標の策定においては、教職員の資質向上を担う任命権者と教員養成を担う大学等の共通認識の下、教職員が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確にすることを、その趣旨としています。

【指標の見方】

キャリアステージに応じて、把握・計画・実行・評価・改善を繰り返しながら、必要な資質・能力を身に付ける

(例) 教諭の資質向上に関する指標

奈良県教育の目指す方向性を示した「奈良県教育振興大綱」で示された「教育施策の基本方針」に基づいて作成された「奈良の学び推進プラン」を踏まえ、指標を策定しています。

横軸には、教員養成段階スタート時から充実期までの「キャリアステージ」を示しています。

- ①基礎形成期は、初任校在任期間
- ②基礎定着期は、中堅教諭等資質向上研修を終えるまでの期間
- ③伸長期は、学年や分掌の中心的な役割を果たし、授業・学校経営のモデルを示すことが期待される期間
- ④充実期は、教員集団の中心として、リーダーシップを発揮して、学校経営等に参画する力を付けていることが望まれる期間

キャリアステージはあくまでも自己のキャリアに応じた目安として設定しています。

縦軸には、教職員として付けたい「資質・能力」を示しています。分野として、教職に必要な素養、学習指導、生徒指導、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応、ICTや情報・教育データの利活用の5つに分け、さらにその分野を分類し、17項目に整理しています。

各ステージで身に付けたい資質・能力を目標として示しています。

一人一人の可能性を最大限に引き出す教育 ～個性と能力に磨きをもたせ、輝かせる教育を～		奈良県教育振興大綱	
教育公務員特例法等の一部を改正する法律	教育公務員特例法等の一部を改正する法律	教育公務員特例法等の一部を改正する法律	教育公務員特例法等の一部を改正する法律
キャリアステージ	分野	項目	内容
基礎形成期	教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢、コミュニケーション能力、マネジメント、連携・協働、危機管理	「教職に必要な素養」は、「主体的に学び続ける姿勢」、「コミュニケーション能力」、「マネジメント」、「連携・協働」、「危機管理」の5つの項目に分けて整理しています。
基礎定着期	学習指導	各教科等の専門的知識、授業設計、授業実践、評価・改善	「学習指導」は、「各教科等の専門的知識」、「授業設計」、「授業実践」、「評価・改善」の4つの項目に分けて整理しています。
伸長期	生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり、指導、教育相談、キャリア教育	「生徒指導」は、「児童生徒理解に基づく集団づくり」、「指導」、「教育相談」、「キャリア教育」の4つの項目に分けて整理しています。
充実期	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	ICTや情報・教育データの利活用	「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」について整理しています。 「ICTや情報・教育データの利活用」は、「授業や校務への活用」、「ICT活用指導力」、「教育データの利活用」の3つの項目に分けて整理しています。

※育成指標の種類は、職の専門性を考慮して「教諭」「養護教諭等」「栄養教諭等」「学校事務職員」「校長」「副校長・教頭」の6つの指標を策定し、「幼稚園等教諭・保育教諭」「園長等」の指標モデルを示しています。職種に応じて求められる資質・能力（分野・項目）を示しています。

【指標の活用】

教職員としての活用方法

- ①各ステージにおける教職員として求められる姿の把握
- ②定期的な自己評価と自身の状況の明確化
- ③自身の課題改善やさらに高度な段階を目指す取組の実践

(OJT、自主研修、校内研修、法定研修及び校外研修等)
※RPDCAサイクルに基づき資質・能力の向上を目指す。

管理職としての活用方法

- ①OJTにおける指導助言
- ②目標管理の面談等
- ③校内研修の推進
- ④校内における初任者研修等の指導
- ⑤教育研究所等の校外研修の奨励

校内研修での活用例

活用例①初任者研修等
校内における研修で目指すべき姿として活用する。

活用例②研究授業
研究授業において、経験年数に応じた指導力の目標を研究主任や授業者が設定する等、授業改善の視点として活用する。

活用例④授業改善・学校運営
教育活動や学校運営について設定した目標や教科で作成したシラバス等と指標とを照らし合わせ、自らの経験年数に求められる資質・能力を確認するとともに教諭としての成長目標を設定する。組織における自己の役割を考えて、組織の改善につなげていく。

活用例③学年経営・学級経営・教科指導
学年経営や学級経営、教科指導等の部会において、各課題を解決する上での取組とともに、必要となる資質・能力を高めるために、先輩教員から若手教員に自身の経験を語り伝える際の視点として活用する。

(1) 奈良県教諭の資質向上に関する指標

奈良県の 目指す 教育	基本理念	一人一人の可能性を最大限に引き出す教育 ～郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～		奈良県教育振興大綱
	施策体系の テーマ	生きる力の基礎を培う初等学校の教育の推進 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進 個性にふさわしい発達を促す上への教育環境、学習環境の推進	地域や家庭で学びを支える社会の実現に向けた教育の推進 誰一人取り残さない教育の推進	奈良県学び推進プラン

[illegible]

※ 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」は、「学習指導」「生徒指導」を個別最適に行うものとしての位置付け

※ 「ICTや情報・教育データの利活用」は、「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」をより効果的に行うための手段としての位置付け

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

教員志望の
高校生徒院

「コミュニケーション力（基礎・応用能力）」「人間関係構築力」を一人一人が持つことができる

「関わる」

</

※ 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」 は、「専門領域における指導」「生徒指導」を個別最適に行うものとしての位置付け

※ 「ICTや情報・教育データの活用」は、「専門領域における指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」をより効果的に行うための手段としての位置付け

(3) 奈良県栄養教諭等の資質向上に関する指標

奈良県の 目指す 教育	基本理念	一人一人の可能性を最大限に引き出す教育 ～郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～ 奈良県教育振興大綱	
	施策体系の テーマ	生きる力の基礎を培う乳前期の教育の推進 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	地域や家庭で学び合う社会の実現に向けた教育の推進 誰一人取り残さない教育の推進 奈良の学び推進プラン

教育活動の 実践形態	教員就業段階	スタート時	分野	項目	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
コミュニケーション力 多様な関係者（人間関係など）一人ひとりが 「関わる」	教員就業段階	スタート時	教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	環境の変化を前向きに受け止める。よりよい教育の実現に向けて、研究と專業に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している	教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている	法や服務規範の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	
				コミュニケーション能力	豊かな人間性や人間感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている	状況や応じて、相手の思いを正しく受け止める、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている	愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている	
				マネジメント	・学校及び地域の意見を聴き、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる ・食料と学校給食の管理の基本的な知識を的確に活用することができる	・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と連携し、組織の一員として、教育の質向上の意図に即応し、必要に応じて、教育課程や組織の運営に参画することができる ・食料と学校給食の管理の基本的な知識を的確に活用することができる	・自身や学校の強み・弱みを把握し、学校組織をつくる中核として、業務の推進と問題解決に向けて、教育課程や組織の運営に即応し、必要に応じて、教育課程や組織の運営に参画することができる ・食料の推進や学校給食運営に積極的に関わり、学校教育目標の具現化に向け、工夫・改善を行うことができる	・学校組織やネットワークの機能を理解し、自校の特色を把握し、状況に応じて他校職員と協力を発揮できる体制づくりに積極的に関与することができる ・学校教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善を推進することができる
				連携・協働	・家庭や地域に対して、食育推進の方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭や地域の協力のもと食育を効果的に進めることができる	・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の食育推進の方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭や地域の協力のもと食育を効果的に進めることができる	・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携、協働した食育活動を推進することができる	・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる ・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携、協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる
コミュニケーション力 多様な関係者（人間関係など）一人ひとりが 「関わる」	教員就業段階	スタート時	教職に必要な素養	危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事業発生時に正しい手順で対応することができる ・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事業発生時には適切に対応することができる ・「安心・安全な学校づくり」に他の教職員と協働して取り組むことができる	・危機の未然防止に率先して取り組むことができる ・危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる	・自校の危機管理体制をさらに構築することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善を積極的に関与することを通して、他の教職員に指導・助言することができる
				栄養管理	・学校給食摂取基準について理解し、地域の食生活に即応した献立を作成することができる	・学校給食摂取基準に基づき、適切な栄養管理や食生活の改善を図ることができる	・地域の食生活に即応し、食料と食育の推進を図ることができる	・学校給食の献立作成や調理、配食に際し、地域の食生活等の状況に即応した献立を作成することができる
				衛生管理	・学校給食衛生管理基準について理解し、安全で安心な給食を提供することができる	・学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者の衛生管理や施設設備の改善に取り組むことができる	・調理従事者や調理場などの衛生管理について、日常的に評価、改善を進めるとともに、適切に指導・助言することができる	・衛生管理に関して、常に最新の知識を習得し、地域の指導の役割を果たすことができる
				各教科等における食に関する指導	・食育の観点について理解し、専門的な立場から担任や教員、食に関する指導を行うことができる ・児童生徒の実態を把握し、実態教育の専門性を生かし、学習担任等と連携して食に関する指導を実施することができる	・食育の観点について理解し、専門的な立場から担任や教員、食に関する指導を行うことができる ・児童生徒の実態を把握し、実態教育の専門性を生かし、学習担任等と連携して食に関する指導を実施することができる	・食育の観点について理解し、専門的な立場から担任や教員、食に関する指導を行うことができる ・児童生徒の実態を把握し、実態教育の専門性を生かし、学習担任等と連携して食に関する指導を実施することができる	・食育の観点について理解し、専門的な立場から担任や教員、食に関する指導を行うことができる ・児童生徒の実態を把握し、実態教育の専門性を生かし、学習担任等と連携して食に関する指導を実施することができる
コミュニケーション力 多様な関係者（人間関係など）一人ひとりが 「関わる」	教員就業段階	スタート時	教職に必要な素養	個別的な相談指導	・偏食、肥満、痩身、食物アレルギー等について理解し、他の教職員や保護者と連携して対応することができる	・専門的な相談指導を依頼し、学習担任や栄養教諭、学校医等と連携しながら児童生徒の発見に即応し、適切な対応や相談指導を行うことができる	・個別的な相談指導を依頼し、学習担任や栄養教諭、学校医等と連携しながら児童生徒の発見に即応し、適切な対応や相談指導を行うことができる	・個別的な相談指導の具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる
				評価・改善	・給食管理や食に関する指導の現状状況から自己の取組を評価し、課題を明らかにし、改善に向けた方及指導方法等の改善に取り組むことができる	・給食管理や食に関する指導の現状状況から自己の取組を評価し、課題を明らかにし、改善に向けた方及指導方法等の改善に取り組むことができる	・給食管理や食に関する指導の現状状況から自己の取組を評価し、課題を明らかにし、改善に向けた方及指導方法等の改善に取り組むことができる	・給食管理や食に関する指導の現状状況から自己の取組を評価し、課題を明らかにし、改善に向けた方及指導方法等の改善に取り組むことができる
				生徒指導	・児童生徒の行動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解することができる ・食に関する指導の時間や休時間等のあり方を検討し、児童生徒一人一人と積極的に関与することができる	・児童生徒の行動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解することができる ・食に関する指導の時間や休時間等のあり方を検討し、児童生徒一人一人と積極的に関与することができる	・児童生徒の行動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解することができる ・食に関する指導の時間や休時間等のあり方を検討し、児童生徒一人一人と積極的に関与することができる	・児童生徒の行動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解することができる ・食に関する指導の時間や休時間等のあり方を検討し、児童生徒一人一人と積極的に関与することができる
				教育相談	・全ての児童生徒が自発的、主体的に成長や発達を遂げていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言、支援を得ながら事業に対応することができる ・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったうえで、児童生徒の発見に即応し、適切な対応や相談指導を行うことができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実施することができる	・全ての児童生徒が自発的、主体的に成長や発達を遂げていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言、支援を得ながら事業に対応することができる ・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったうえで、児童生徒の発見に即応し、適切な対応や相談指導を行うことができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実施することができる	・全ての児童生徒が自発的、主体的に成長や発達を遂げていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言、支援を得ながら事業に対応することができる ・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったうえで、児童生徒の発見に即応し、適切な対応や相談指導を行うことができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実施することができる	・全ての児童生徒が自発的、主体的に成長や発達を遂げていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言、支援を得ながら事業に対応することができる ・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったうえで、児童生徒の発見に即応し、適切な対応や相談指導を行うことができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実施することができる
コミュニケーション力 多様な関係者（人間関係など）一人ひとりが 「関わる」	教員就業段階	スタート時	教職に必要な素養	特別な配慮や支援を必要とする児童や生徒への対応	・児童生徒が不登校や健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の異常に留意する特性について理解することを通して、適切な対応や相談指導を行うことができる ・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別的教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員と相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる	・児童生徒が不登校や健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の異常に留意する特性について理解することを通して、適切な対応や相談指導を行うことができる ・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別的教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員と相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる	・児童生徒が不登校や健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の異常に留意する特性について理解することを通して、適切な対応や相談指導を行うことができる ・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別的教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員と相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる	・児童生徒が不登校や健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の異常に留意する特性について理解することを通して、適切な対応や相談指導を行うことができる ・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別的教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員と相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる
				ICTや情報・教育データの活用	・学校におけるICT活用の意義を理解し、学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを適切に活用することができる ・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や伝達をすることができる ・ICTを活用し、効果的な学校給食の管理と効果的な指導を行うことができる	・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や伝達をすることができる ・ICTを活用し、効果的な学校給食の管理と効果的な指導を行うことができる	・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や伝達をすることができる ・ICTを活用し、効果的な学校給食の管理と効果的な指導を行うことができる	・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や伝達をすることができる ・ICTを活用し、効果的な学校給食の管理と効果的な指導を行うことができる
				データの活用	・データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる ・児童生徒の健康課題等の改善のため、データを適切に活用し、指導に活かすことができる	・データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる ・児童生徒の健康課題等の改善のため、データを適切に活用し、指導に活かすことができる	・データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる ・児童生徒の健康課題等の改善のため、データを適切に活用し、指導に活かすことができる	・データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる ・児童生徒の健康課題等の改善のため、データを適切に活用し、指導に活かすことができる
				その他	・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる ・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる	・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる ・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる	・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる ・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる	・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる ・児童生徒の健康課題等の改善を目的とし、様々な人々と広く連携、協働を推進するための組織づくりに積極的に関与することができる

※ 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」は、「専門領域における指導」「生徒指導」を個別最適に行うものとしての位置付け

※ 「ICTや情報・教育データの活用」は、「専門領域における指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」をより効果的に行うための手段としての位置付け

(4) 奈良県市町村立小中学校事務職員の資質向上に関する指標

奈良県 の目指す 教育		基本理念 施策体系の テーマ	一人一人の可能性を最大限に引き出す教育 ～郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～ 生きる力の基礎を培う就学前の教育の推進 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進			奈良県教育振興大綱 奈良の学び推進プラン	
スタート時		分野	項目	基礎形成期 (目安：経歴3年目以下の主事)	基礎定着期 (目安：経歴4年目以上の主事・主任主事)	伸長期 (目安：主事)	充実期 (目安：主任主事) (事務リーダー)
奈良県教育振興大綱、奈良の学び推進プランを理解しようとしている		学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している 教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている 法令や勤務規程の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている
			コミュニケーション能力	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている	豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている
			企画運営調整・マネジメント	・自校の教育目標を理解し、児童生徒一人一人を大切にしたい学校づくりに取り組むことができる ・学校組織マネジメントの仕組みを理解し、行政職員として果たすべき役割を意識して職務を遂行することができる	・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に学校運営に参与することができる ・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した活動を推進することができる	・学校評価や監査結果等から自校の取組の成果と課題を検証し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、他の教職員に助言することができる ・自校の教育目標の達成に向けて、学校組織マネジメントの手法を取り入れながら学校経営計画を推進するとともに、学校評価結果を反映させた学校改善を推進することができる	・事務職員組織の目指す目標を定め、組織の共有を図り、その達成に向けて組織内の事務職員を支援・リードすることができる
			連携・協働	・学校間及び地域や関係機関等との連携の実態を把握することができる ・地域との連携活動に積極的に関わり、地域の人材・資源を知るとともに、地域コーディネーターの役割や仕事内容を理解することができる	・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した活動を推進することができる ・学校運営に必要な情報を収集して活用するとともに、家庭や地域・学校理解を深めるために情報を発信することができる	・学校運営協議会、学校評議員会等に参画し、自校の活動を伝えつづ理解と協力を得ることができる ・家庭や地域・関係機関等と連携・協働した活動を計画・推進するとともに、自校の課題を解決するための手法について他の教職員に助言することができる	・事務職員組織における業務の円滑な遂行のために、校長会・教頭会及び教育委員会や関係機関等と連携を図ることができる
			危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる ・危機管理マニュアル等を確認しながら、未然防止のための身の回りの安全点検を行うことができる	・危機管理の重要性や自己の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる ・安心・安全な学校づくりのために、他の教職員と協働して取り組むことができる	・安全点検の集約やマニュアル整備など、教職員の中心となって危機の未然防止に取り組むことができる ・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる	・事務職員組織内の学校の危機管理に関する課題解決に向けて、情報提供等の支援をすることができる
業務に必要となる基本的な知識と技能を理解している		専門領域における業務遂行	児童生徒理解・教育活動	・自校の教育目標と県及び市町村の教育目標との関連を理解するとともに、自校の教育活動の実態を把握することができる ・自校の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握し、児童生徒に関わるこ	・教育課程を理解し、自校の経営計画と事務部経営計画を関連させて事務部経営計画に取り組み、学校行事や教育活動を支援することができる ・児童生徒の自己存在感を高めることを意識し、積極的に児童生徒に関わるこ	・各機校内対策委員会等に参画して自校の教育課題に対する解決策を検討するとともに、教職員とともに課題解決に取り組むことができる ・自校の授業研究等に参画して児童生徒の活動実態を把握し、支援体制・環境整備について提案することができ	・自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価を一体化した事務部経営計画を立案することができる ・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案することができ
			業務設計	・市町村立小中学校学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務の内容を把握し、事務部経営計画を立案することができる ・自己の業務と児童生徒の活動を関連付け	・市町村立小中学校学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務の内容と教育活動を関連させて、事務部経営計画を立案することができる ・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案することができ	・自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価を一体化した事務部経営計画を立案することができる ・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案することができ	・事務職員組織の在り方・業務を計画し、組織的に推進するとともに、組織内の事務職員に支援をすることができる
			業務実践	・市町村立小中学校学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務の内容を把握し、事務部経営計画を立案することができる ・自己の業務と児童生徒の活動を関連付け	・市町村立小中学校学校事務職員標準的職務内容一覧表に示された職務の内容と教育活動を関連させて、事務部経営計画を立案することができる ・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案することができ	・自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価を一体化した事務部経営計画を立案することができる ・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案することができ	・事務職員組織の在り方・業務を計画し、組織的に推進するとともに、組織内の事務職員に支援をすることができる
			評価・改善	・自校の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握し、児童生徒に関わるこ ・他の教職員からの助言・支援を業務の推進に生かすことができる	・自己の業務の進捗状況や完成度から進め方や手順を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる ・他の教職員からの助言・支援を業務の推進に生かすことができる	・自校の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握し、児童生徒に関わるこ ・他の教職員が担当する学校事務に対して、具体的な改善案を示しつつ、助言することができる	・自校の課題への対応や事務部経営目標の達成の観点から学校事務を適切に改善し、率先して改善に取り組むことができる ・学校事務における業務改善をリードしつつ、他の教職員に指導・助言することができる
			グループワーキング・共同学校事務室	・他の事務職員から学ぶとする意欲をもち、学ぶことを日々の業務に生かすことができる ・自己の役割を理解し、他の事務職員と協働して取り組むことができる	・自ら役割を担いそれらを確実に果たするとともに、積極的に他の事務職員を支援することができる	・事務リーダーを補佐し、業務改善・効率化及びOJTによる人材育成を推進することができる	・グループワーキング及び共同学校事務室活動をさらに進展させ活性化をリードするとともに、後進を育成することができる
と重視しやすい事例があるよう希望する		対重要や特定生徒支援への配慮	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする
			児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする	児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をする
活用したい事例があるよう希望する		育ICTや情報活用教育	校務への活用	・ICT活用についての知識・技能を身に付け、学校事務の遂行において、ICTを適切に活用することができる ・教育データの活用を実践することができる	・学校事務の効率化を図るために、ICTを活用した効果的な業務改善に取り組むことができる ・学習指導と生徒指導等の改善のための、自校の教育データ活用を支援することができる	・教職員が校内情報を共有するための環境を整備し、利活用を促進することができる ・教職員が教育データを適切かつ効果的に活用するための環境を整備し、活用を促進することができる	・ICTを活用した学校事務の強化に取り組むとともに、ホームページ等による学校情報の発信を推進することができる
			教育データの利活用支援	・教育データの活用を実践することができる	・学習指導と生徒指導等の改善のための、自校の教育データ活用を支援することができる	・教職員が教育データを適切かつ効果的に活用するための環境を整備し、活用を促進することができる	・事務職員組織内の学校のICT活用による学校事務の強化をリードするとともに、教育委員会と連携し、教育データ活用環境整備を促進することができる

※ 事務職員組織とは、グループワーキング及び共同学校事務室、事務研究会等の組織をいう。